

2025 年度 園芸スイレンの除去計画

ウトロ自然保護官事務所

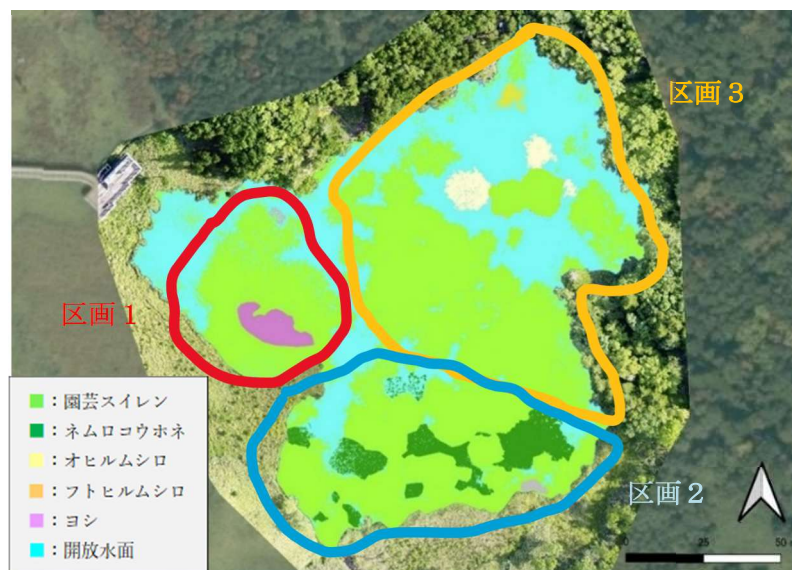
1. 事業の目標

良好な景観の獲得と生態系の維持回復のため、1 湖に繁茂するスイレンを根絶することを目標とする。当初の目標としていた第 2 期にあたる 2025 年度は在来種の多い高架木道対岸の区画を対象とし、除去の最終年にあたる 2026 年度は残る区画を対象とし作業することを目標としていたが、今年度の除去作業の実施結果から、短期目標および中期目標の設定の見直しが必要であると判明したため、以下に目標を再設定した。

長期目標：一湖に繁茂する園芸スイレンを根絶させる。

中期目標：一湖全体で園芸スイレンの葉が低密度状態となる。(2028年)

短期：区画 1 の園芸スイレンの葉を完全除去する。(2026年)



1湖における園芸スイレン除去区画

2. 除去実施形態

(1) ボート・カヤックを使った刈取り

- (ア) 関係者・ボランティアによる作業（継続）
- (イ) 地域イベントの開催（継続）
- (ウ) 企業・団体の協力（調整中）
- (エ) 単純作業的な刈取り業務発注（検討中）

(オ) 除去作業ツアー試行（検討中）

(2) 道具を用いた刈取り

(ア) 水草刈取りロボの走行実験（調整中）

3. モニタリング

元神戸大学大学院理学研究科 生物学専攻 教授の角野康郎氏へのヒアリングでは、1 湖のような地下茎へのアプローチが困難な場所においては、葉の刈取りにより地下茎に蓄えられた養分を消耗させることが有効であるとのこと助言をいただいている。当年度の展葉のエネルギー源は前年度以前に蓄えられた養分であることから、葉の刈取りの効果が現れるのは刈取りの翌年度以降となる。

引き続き展葉の様子をモニタリングし、刈取りの効果を検証したい。